

3 安芸区のまちづくりの方向性

安芸区では、地域の課題解決や地域の魅力と活力の向上に資する区民のみなさんの主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりの推進に取り組めます。

ここでは、安芸区の現状や、区のまちづくり懇談会などでみなさんから頂いた意見を踏まえ、安芸区の四つのまちづくりの方向性と主な取組をまとめています。今後、住民のみなさんと連携しながら、これらの取組の実現に向けて取り組んでいきます。

まちづくりの方向性	
①	人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進めます。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図ります。
②	豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり 岩滝山や蓮華寺山、鉾取山、絵下山などの山々や瀬野川の水辺などの豊かな自然を保全・活用し、住民が身近に緑や水に親しむことのできる環境づくりに取り組み、豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくりを進めます。
③	ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組みます。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進めます。
④	東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり 隣接する府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携を一層促進させ、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きを一層深めることにより、共に活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

まちづくりの方向性①

人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり

まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進めます。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

【主な取組】

地域の支え合い

(1) 日常の困りごとに対応する活動拠点づくり

住民が抱える日常の困りごとに、既存の枠組みに捉われない地域住民自らが相談に乗ったり、解決策を提示する拠点づくりを支援することにより、支え合いの意識づくりと地域活動への参加を促します。

新

・ 地域のボランティア会議の創設

地域で積極的に活動している市民団体やボランティアを構成員とした会議を、近隣の市町とも連携して創設することにより、既存組織に捉われない若い世代に積極的に参加してもらい、地域を元気にする取組の企画を促し、地域の担い手の育成につなげます。

継

・ 健康講座等の開催

住民一人一人が生き生きと住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民同士の交流の機会を創出するため、地区社会福祉協議会等が取り組む健康講座等の開催や文化活動等の場の提供を支援します。

継

・ 困りごと解決に向けた支援

生活上の困りごとの解消や地域の課題解決のため立ち上げられた住民主体の取組が円滑に行われるよう、協同労働など新たな手法も用いて関係機関と連携して支援します。また、医師会等との連携により地域医療体制の充実を図ります。

継

・ フリースペースの活用

フリースペースで実施される、子どもの遊び場、子育て学習会、健康講座、高齢者体操教室、料理教室等の活動を支援し、地域住民が交流を深める中で相互に支え合えるような地域づくりを推進します。

継

・ 子どもと高齢者の交流の促進（再掲）

地域に古くから伝わる盆踊りなどの行事やしめ縄づくりなどの慣わしの継承活動の継続を支援することにより、子どもと高齢者の交流を促進します。

継

・ 幼児から高齢者まで世代を超えた交流の促進（再掲）

地域住民の企画によるスポーツ交流会や昔遊び、映画鑑賞会などの開催を支援することにより、幼児から高齢者まで幅広い参加の得られる世代を超えた交流を図ります。

継

- ・ 親と子どもの交流の促進（再掲）

交流機会を求める子育て世代が子どもとともに集える拠点施設を、地域団体が確保するのを支援することにより、地域の絆を深めます。



困りごとへの支援（草刈り）



矢野の家

(2) 子育て支援

子育て世帯が抱える悩みを相談することができる環境を整え、安心して子育てをすることができると感じるまちづくりを推進します。

新

- ・ 朝ごはんの提供活動への支援

各小学校区で各種地域団体（民生委員児童委員・地区社会福祉協議会・子ども会・任意団体・ボランティア）が連携し、登校前の児童に対し朝ごはんを提供する「朝ごはん会」の活動を支援（食育に関する情報提供）し、食でつながる地域づくりを推進します。

継

- ・ 地域のオープンスペース・子育てサロンの開催

子育ての悩みを相談できる保護者同士の仲間づくりと子どもの遊び場づくりを目的として、地域のオープンスペース・子育てサロンを開催し、安心して子育てをできる環境整備の充実を図ります。

(3) 高齢者世帯への支援

高齢者世帯に対して、身近な困りごとに細やかな支援を行うことにより高齢者が住みやすいまちづくりを推進します。

継

- ・ 交流サロンの開催

高齢者に外出を促す集いの場を提供するため、歌やレクリエーション等を通じ、日常的に交流できるサロンを住民主体で継続して運営できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援します。

継

- ・ 地域の見守り体制の構築

高齢者一人一人が生き生きと住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域住民を主体とした「地域包括ケアシステム」や「高齢者見守りネットワーク」を構築するため、区社会福祉協議会・地域包括支援センター等関係機関と連携して支援します。

継

- ・ 住民主体型生活支援訪問サービス事業の実施

高齢者一人一人が生き生きと住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ゴミ出し、電球交換等を行う「住民主体型生活支援訪問サービス事業」の円滑な推進を支援します。

継

- ・ 認知症の人とその家族の支援

認知症の人とその家族を支えるため、「認知症サポーター養成講座」等の開催や、「認知症カフェ運営事業」の活用が普及するよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援します。



いきいき百歳体操



交流サロンの開催

(4) 障害者世帯への支援

障害のある方やその家族が、安心して地域生活を送れるようまちづくりを推進します。

新

- ・ 地域生活支援拠点事業の活用

地域生活支援拠点事業を活用し、障害のある方やその家族が安心して地域生活を送れるよう、地域・関係機関の連携を強化し、区内における緊急時の受入れ体制を整えます。

新

- ・ 障害者自立支援協議会安芸区地域部会の活用

障害者自立支援協議会安芸区地域部会において、関係団体・支援団体が集まり、地域課題の抽出と対応、相互のネットワーク強化や地域資源の開発等を行うとともに、障害者への理解を深めるための普及啓発や権利擁護意識の醸成に取り組みます。

災害に強く、安全・安心なまちづくり

(1) 災害への備えの充実

平成 30 年(2018 年)7 月の豪雨災害の教訓を踏まえ、各機関が連携して地域防災力の向上を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

新

・ 復興まちづくりプランの作成支援

モデル地区に選定した矢野地区及び上瀬野地区において、目指すべきまちの将来像やその実現に向けた取組を「見える化」した「復興まちづくりプラン」作成のためのワークショップに職員も参加するなど、地域の取組をサポートします。

新

・ 防災出前サロンの開催

各地域の防災士に働きかけて「防災出前サロン」を開催し、防災・減災について気軽に話す機会を設けるなどにより仲間意識の醸成を促し、共助の避難行動等につなげていきます。また、防災士が活動しやすいよう、資料提供や資機材の貸出等について支援します。

継

・ 地域防災力の向上

平成 30 年(2018 年)7 月の豪雨災害の被災地区の中から、矢野地区及び上瀬野地区をモデル地区に選定し、わがまち防災マップの作成や防災訓練（子どもを対象とした宿泊訓練を含む）の実施、Web カメラの設置や防災リーダーの養成など、防災・減災に向けた取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。その成果を踏まえ、他の地区においても取り組みます。

継

・ 防災まちづくり活動の促進

平成 26 年(2014 年)8 月 20 日以降に広島市に寄せられた寄附金をもとに設置された「防災まちづくり基金」を活用し、防災研修会の開催やわがまち防災マップの作成支援等を行い、地域の防災まちづくり活動の促進を図ります。

継

・ 避難行動要支援者支援事業の推進

避難行動要支援者支援事業に係る同意者リストを避難支援等関係者へ提供し、地域で行われている「支援・見守り活動」との連携を働きかけるなどし、必要に応じ、避難に必要な具体的事項を整理した個別計画の作成を推進します。



わがまち防災マップ作成会



防災キャンプ

(2) 防犯対策の強化

住民の意識啓発を図りながら、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくりを推進します。

継

・ 防犯の取組の推進

市民、事業者及び行政が連携・協働して「減らそう犯罪」区民大会や防犯講習会を開催することなどにより、犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに取り組み、安全・安心な地域社会の実現を図ります。

継

・ 交通安全の取組の推進

引き続き、交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、交通安全街頭キャンペーンや自転車マナーアップキャンペーンを実施します。



防犯講習会



減らそう犯罪、安芸区民大会



子どもの見守り活動



交通安全運動キャンペーン

健康づくりの増進

ウォーキングを開催したり地域の集まりを促したりすることにより、住民の健康づくりの機会を提供し、地域の活性化を図ります。

継

・ 瀬野川健康ウォーキングの開催

豊かな自然を生かして瀬野川河川敷に整備されたウォーキングコースを活用し、ウォーキング大会を年に2回実施し、そのうち1回は海田町と共催することにより、住民の健康を増進し、健康づくり意識の向上を図るとともに、住民同士の交流を促進します。

継

・ 健康講座等の開催（再掲）

住民一人一人が生き生きと住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民同士の交流の機会を創出するため、地区社会福祉協議会等が取り組む健康講座等の開催や文化活動等の場の提供を支援します。

継

・ 交流サロンの開催支援（再掲）

高齢者に外出を促す集いの場を提供するため、歌やレクリエーション等を通じ、日常的に交流できるサロンを住民主体で継続して運営できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援します。



瀬野川健康ウォーキング

中山間地の活性化

阿戸地区を始めとする中山間地において、多くの地区外の住民による来訪を促すことにより、地域の活性化を推進します。

新

・ コミュニティ・スクールの活用

阿戸小・中学校の小中一貫校への移行及びコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入により、9年間の教育に地域住民が積極的に関わられるよう支援します。

継

・ 旧阿戸保育園を拠点としたにぎわいづくり

阿戸地区において、地域団体の活動をエリアマネジメントの手法を活用して支援することにより、保育園跡施設を活用して現在行っている高齢者交流サロンだけではなく、子ども達の参加を促すことによる地域の連携機能の充実と、U I J ターン支援窓口の設置や野菜等の特産品の加工・販売といった情報発信機能の強化を図ります。

継

・ 中山間地活性化の担い手の支援

「ひろしま活力農業」経営者育成事業などによる新たな担い手の育成・営農を支援し、就農後、地域との協調した関係を築き、将来的には地域活動への積極的な参画につながるよう、地域活性化の担い手の支援を図ります。

継

・ 里山あーと村ふるさと起こし事業の推進

自然豊かな阿戸地区の市有林と農地を活用した「里山あーと村ふるさと起こし事業」は、定期的な部会活動のほか、住民を対象とした四季折々の農林業体験イベントを協働方式で開催しており、地区内外の住民の交流の場を提供するとともに、阿戸地区の活性化を図ります。

継

・ 阿戸地区活性化の取組の推進

平成 26 年(2014 年)・平成 27 年(2015 年)度を実施した地域住民によるワークショップを踏まえて取りまとめた「阿戸地区の新たなまちづくりプラン」に盛り込まれた活性化策の実現に向けて、地元組織と協議をしながら進めていきます。



ふれあい広場ひだまり



「ひろしま活力農業」経営者育成事業により就農された岡崎さん



里山あーと村ふるさと起こし事業でのサツマイモ植え

まちづくりの方向性②

豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり

岩滝山や蓮華寺山、鉾取山、絵下山などの山々や瀬野川の水辺などの豊かな自然を保全・活用し、住民が身近に緑や水に親しむことのできる環境づくりに取り組み、豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくりを進めます。

【主な取組】

豊かな自然との共存

(1) 自然の保全・活用

自然観察会を開催することにより、住民が自然に触れるきっかけづくりを行います。

継

・ 自然保護活動の取組の推進

河川流域の清掃活動、水質浄化活動、自然観察会など自然の大切さを学び、保全する取組やまちの美化・清掃活動、緑化活動などにより、自然環境を大切にし、美しいまちづくりに取り組みます。

継

・ 絵下山の活用

矢野地区において、地区で親しまれている絵下山で自然観察会を行ったり、地域住民によるのろしりレーの開催を支援することにより、自然を愛する人材を増やします。

継

・ ホタルの活用

地域団体が開催するホタル鑑賞会や、ホタルの養殖・放流の支援を行うことにより、河川環境を整えます。



のろしりレー



ホタル祭り

(2) やすらぎのある環境づくり

登山道の整備を行うなど、住民が身近に親しむことのできる環境づくりを行います。

新

・ 整備事業により生まれるスペースの有効活用の検討

東広島バイパスの整備やＪＲ海田市駅の高架化に伴い生まれるスペースの有効活用について、事業の進捗を踏まえながら検討します。

継

・ 未利用地の活用

耕作放棄地などの未利用地を活用して、地域住民による花壇づくりを始めとした取組を支援することにより、憩いの場づくりにつなげます。

継

・ ハイキングコースの整備

安芸区や近隣市町の登山道整備ボランティアと連携しながら、身近にある山々にハイキングコースを整備し、地域の魅力資源として活用することにより、身近な里山として親しみを感じることができるようになります。



耕作放棄地の整備



ハイキングコースの整備

まちづくりの方向性③

ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり

かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組みます。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進めます。

【主な取組】

ふるさと魅力活用

(1) 西国街道を始めとした史跡の活用

ボランティアガイドと連携しながら、安芸区の魅力ある史跡について多くの住民に知ってもらいます。

継

・ 西国街道の活用

海田町を始めとする近隣の市町と連携しつつ、地域のボランティアガイドと連携しながら、西国街道沿いの史跡を紹介するまち歩きを瀬野、中野、海田、船越・府中の4区間に分けて開催します。

継

・ 歴史資源の活用

西国街道沿い以外の地域においても、地域のボランティアガイドと連携しながら、地域が大切に育み保存してきた歴史的資源（神社仏閣、古民家、無形文化財等）を紹介するまち歩きを開催します。



西国街道を歩こう



安芸区歴史探訪

(2) 伝統文化の継承

各地区に伝わる伝統文化を、多くの住民に知ってもらう機会を設けるとともに、補助制度を活用して文化の継承を支援します。

継

・ 継承円滑化の支援

各地に伝わる伝統文化について、道具などの修繕・新調の支援をすることにより、継承を円滑にするとともに、より多くの住民に知ってもらうきっかけとします。

継

・ 新たな形での伝統文化の継承の促進

担い手不足などの理由により途絶えた又は途絶えそうになっている伝統行事に、地域住民の企画による新たな催しの開催などを支援することにより、新たな形での伝統文化の継承につなげます。



畑賀神楽



矢野頂戴



ふなこし秋まつり「鬼フェス」



山頭火まつり

世代間を超えた交流

子どもから高齢者まで様々な世代の住民が交流できる場を設けて、住みやすいまちづくりを推進します。

- 子どもと高齢者の交流の促進

継

地域に古くから伝わる盆踊りなどの行事やしめ縄づくりなどの慣わしの継承活動の継続を支援することにより、子どもと高齢者の交流を促進します。

- 幼児から高齢者まで世代を超えた交流の促進

継

地域住民の企画によるスポーツ交流会や昔遊び、映画鑑賞会などの開催を支援することにより、幼児から高齢者まで幅広い参加の得られる世代を超えた交流を図ります。

- 親と子どもの交流の促進

継

交流機会を求める子育て世代が子どもとともに集える拠点施設を、地域団体が確保するのを支援することにより、地域の絆を深めます。

- 住民の連帯意識の高揚

継

住民の連帯意識の高揚を図るために、住民総参加の「安芸区民まつり」や、複数競技のスポーツ行事を行います。

- 各種団体への支援

継

効果的な事例を集めた事例集をコミュニティ交流協議会などの場を活用して紹介するなど、各種団体への支援を継続することにより、多様な社会参加を促します。



ふなこし岩滝山フェス



焼き芋カフェ



区民まつり



ふれあいフェスティバル

花と緑と音楽を通じた地域のきずなづくり

区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、音楽に触れる機会を設けることにより、花と音楽にあふれた魅力あるまちづくりを進めます。

継

・ 花と緑と音楽にあふれるまちづくり

安芸区内の花づくり活動を行う団体等の育成・支援を継続したり、隣接する海田町とも連携することにより、活動の輪を広げ、花と緑にあふれるまちづくりを進める。また、“花と緑“に”音楽“を加え、花と音楽にあふれるまちづくりを安芸区民文化センター主催の「あきクラシックコンサート」等との連携を進めていきます。

継

・ 誰故草（たれゆえそう）の活用

船越地区において、連合町内会、公民館及び各種地域団体等と連携し、旧船越町の町花で住民にも親しまれてきた誰故草の生育・普及を継続することにより、コミュニティの活性化を図ります。



あきクラシックコンサートでの展示



ボランティアによる植付



誰故草

まちづくりの方向性④

東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり

隣接する府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携を一層促進させ、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きを一層深めることにより、共に活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

【主な取組】

住民相互の交流の促進

行政だけでなく民間レベルでの、隣接する府中町、海田町、熊野町及び坂町などとの連携の支援や、イベントの開催などにより、人々の更なる交流や地産地消の促進などを図ります。

新

・ 民間レベルの広域連携の検討

行政間の広域連携だけではなく、民間レベルでの広域連携も促進できるよう、例えば、コミュニティ交流協議会レベルの組織での広域連携ができないか検討を行います。

新

・ 安芸区外の大学との連携

広島国際学院大学の閉校が発表されたため、地域と若者の結び付きを保つため、安芸区外の大学との連携を検討します。

新

・ 民間企業等との連携の推進

様々な経営資源を有する民間企業等と、地域連携協定の締結などを行い、地域社会の発展、地域福祉の向上等に関する取組を推進します。

新

・ 安芸地区の特産品や食材を活用した地産地消の促進

安芸地区の特産品や食材を活用したレシピを考案するとともに、農産物等のPRなどをイベント等に併せて行い、人々の交流や地産地消の促進に取り組みます。

継

・ 近隣の自治体などとの交流・連携の推進

安芸区民まつりに併せて開催している安芸地区交流まつりなどを開催することにより、近隣の自治体などとの交流・連携を推進します。

新

・ 地域のボランティア会議の創設（再掲）

地域で積極的に活動している市民団体やボランティアを構成員とした会議を、近隣の市町とも連携して創設することにより、既存組織に捉われない若い世代に積極的に参加してもらい、地域を元気にする取組の企画を促し、地域の担い手の育成につなげます。

継

・ 瀬野川健康ウォーキングの開催（再掲）

豊かな自然を生かして瀬野川河川敷に整備されたウォーキングコースを活用し、ウォーキング大会を年に2回実施し、そのうち1回は海田町と共催することにより、住民の健康を増進し、健康づくり意識の向上を図るとともに、住民同士の交流を促進します。

新

・ 整備事業により生まれるスペースの有効活用の検討（再掲）

東広島バイパスの整備やＪＲ海田市駅の高架化に伴い生まれるスペースの有効活用について、事業の進捗を踏まえながら検討します。

継

・ ハイキングコースの整備（再掲）

安芸区や近隣市町の登山道整備ボランティアと連携しながら、身近にある山々にハイキングコースを整備し、地域の魅力資源として活用することにより、身近な里山として親しみを感じることができるようになります。

継

・ 西国街道の活用（再掲）

海田町を始めとする近隣の市町と連携しつつ、地域のボランティアガイドと連携しながら、西国街道沿いの史跡を紹介するまち歩きを瀬野、中野、海田、船越・府中の４区間に分けて開催します。

継

・ 花と緑と音楽にあふれるまちづくり（再掲）

安芸区内の花づくり活動を行う団体等の育成・支援を継続したり、隣接する海田町とも連携することにより、活動の輪を広げ、花と緑にあふれるまちづくりを進めます。また、“花と緑“に”音楽“を加え、花と音楽にあふれるまちづくりを安芸区民文化センター主催の「あきクラシックコンサート」等との連携を進めていきます。



げんき菜安芸っ子スープのレシピ開発



安芸地区自慢対決 in シャレオ



安芸地区交流まつり



高知県安芸市との交流